

議会 とよとみ

豊富町議会広報紙

令和7年8月

第252号

6月定例会 [6月19日]

豊富町議会からのお知らせ

6月定例会特集	2
議会が町のコトチェック	4
一般質問	6
議会レポート	10
◇豊富高校3年生6月定例会傍聴	
◇広聴会「豊富高校町外からの通学生」	
◇広聴会「豊富温泉コンシェルジュデスク」	
◇研修会参加報告	
議会からのお知らせ	15
高校生の声、中学生の声	16

「議会とよとみ」はスマートフォンでも見られます



副町長の任命

全会一致で同意



副町長からのひとこと

本町を取り巻く状況は、減少幅は多少鈍化しているものの、依然として「少子高齢化による人口減少」「基幹産業である酪農家の減少」など、大変厳しい状況です。

河田町長のもと、住民の皆様が『住みやすさを実感できるまちづくり』を目指し、微力ですが、全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

6月定例会のあらまし

令和7年6月19日に6月定例会が開かれました。

はじめに、豊富高校3年生が授業の一環として議会傍聴に来られている説明があり、一般質問では2名の議員が登壇し、「サロベツ川の治水について」「大規模草地の施設について」「コンビニエンスストアでの住民票、印鑑証明書の発行サービスの進捗状況について」「本町における食料品を扱う商店の減少について」の4件の質問を町長へ行いました。

また、町長から提出された1件の選任同意、12件の条例改正、3件の補正予算、1件の財産の取得、1件の報告については、全て原案可決されました。



陸上養殖実証実験「サクラマス」

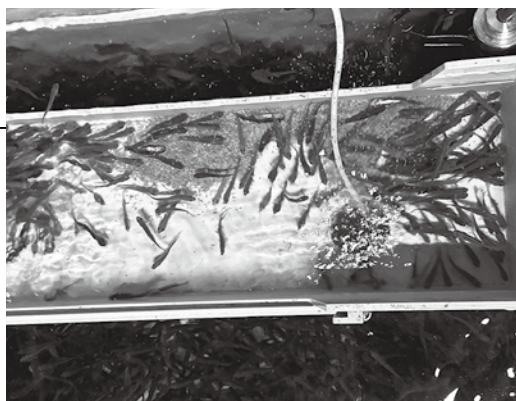
新規事業

稚咲内地区において、漁港施設を活用した「陸上養殖事業」の実証実験がスタートします。

漁港内より取水した陸上海水での養殖事業が可能かを判断するため、「サクラマス」の飼育実験を行い、海水での成長速度や市場価格などを検証します。

実証実験では、4トンの水槽に800gのサクラマスを50尾導入し、給餌・清掃・設備メンテナンスなどの管理を地区漁業者にご協力いただき、実施します。

将来的には、陸上養殖のサクラマスを地域の特産品と、ふるさと納税の返礼品としての活用が期待されます。



▲イメージ図



豊富町企業立地促進条例

一部改正

近年、社会や経済の状況が大きく変化するなか、より戦略的な企業誘致の推進や既存企業に対する支援策が求められており、企業のニーズを捉えた効果的な優遇制度とするため支援制度を拡充します。

一部改正後のポイントは次のとおりです。

Point

■補助事業の目的

町内の企業立地や産業振興を促進するため、町内に事業場を新增設する事業者に対し、助成等の優遇措置を行うことにより、地域経済の発展と雇用機会の拡大を図ることを目的に補助金を交付します。

■助成の対象者

・事業場新設の場合

事業場に係る固定資産を取得するために要する費用額が2,000万円以上で、かつ、常時使用する従業員数が3人以上

・事業場増設の場合

事業場の増設に係る固定資産の費用額が1,000万円以上で、かつ、常時使用する従業員数が1人以上

■補助金の内容

補助金	内 容	期間・額・率など
事業振興奨励補助金	固定資産税相当額 事業場の新增設に伴う当該事業者 が所有する土地建物及び償却資産 に係る費用額	事業開始の年（年の中途から事業 を開始したときはその翌年）から 3年間 ※議会の議決を経た場合は2年間 延長
事業場等建設・設置 費補助金	事業場の新增設の建設及び償却資 産に係る費用額	費用額の100分の40 上限額 3,000万円
土地取得費補助金	事業場の新增設の敷地（土地）取 得に係る費用額	取得価格の100分の30以内
雇用奨励補助金	事業場の新增設に伴う新規雇用者 に係る費用額	新規雇用者数に1年につき15万 円を乗じた額（1年以上常時雇用 される者に限る。） 上限額 150万円 2年間限度



町長から提案された予算案等は、総務産業常任委員会・予算決算常任委員会で慎重に審議が行われます。「豊富町はどうなっていくの？ 私たちの税金はどんなコトに使われていくの？」委員会では、そんな疑問を解消するため議員から町の執行部へ様々な質問が投げかけられます。

実際に行われた議員の質問と町の回答を一部ご紹介します。

全国瞬時警報システム受信設備整備事業

(内容) 防災気象情報伝達にかか
るシステム更改に伴い、令和7年
度中に新型受信機を整備するよう
求められ、北海道総合行政情報
ネットワークと共用している衛星
受信設備の分離が必要となるため、
整備するもの。

Q 工事請負費の内容と場所

全国瞬時警報システム衛星受信
アンテナ設置工事費の内容につい
て、アンテナの場所など、どこに
どういうようなものが設置される
のか。

A 北海道のアンテナの設備を分離するため庁舎屋上に設置する

全国瞬時警報システム（Jアラート）に用いるもので、現在北海道の設備として庁舎屋上に大きなアンテナが設置されており、共有している状況になるため、アンテナに障害が発生した場合に2つのシステムが両方停まってしまうことから、専用で整備するよう通知が出され、現在設置のアンテナ

の西側に整備する予定。

Q 不感地帯の対応は

アンテナを建てて受信し、それだけで果たして地域に全部行き渡るのか。GPSを使って衛星にするなど、不感地帯の対応をどうするか考える必要があり、町としてどう取り組みをしていくのか。

A Jアラートによる町民周知の継続と他の手段を検討する

衛星回線を使用した全国瞬時警報システム（Jアラート）による町民への周知は、自動的に防災行政無線・防災メール・戸別受信機・防災電話（FAX）へ速達され、職員の手を介さず通知できる取り組みを行っているが、引き続き情報を広げ、このほかに手段がないか検討する。



公式LINE機能拡充システム使用料

(内容) 豊富町公式LINEを活用し、現在1951人の登録者のうち、ブロック数470人と増加傾向にあり、機能の拡充を行うものの。

Q 公式LINE拡充の内訳と具体策は

公式LINEの内訳と町民が必要な情報をどう入れるのかの具体策を教えてください。

A 必要なカテゴリのみをチェックし受信する仕組みを導入する

情報の混在や偏りがあり、結果としてブロックや未読が一定程度あるものと認識している。

これに対し機能を拡充し、町民も必要な情報がそれぞれ異なるため、希望する情報だけを受信する設定ができる運用にしたと考えている。

具体的にはイベント・観光、防災・災害、町によってはヒグマの運用もあるが、情報にカテゴリを設定し、受信したいカテゴリだけをチェックしていただくことで

「セグメント配信（絞り込み配信）」で必要な情報だけを取得できるような仕組みを導入したい。

地域おこし協力隊任用事業

（内容）温泉利用型健康増進施設に配置が必要な健康運動指導士について、地域おこし協力隊制度を活用しながら雇用を行い、地域外の人材を誘致し地域活動の充実を図るもの。

Q 任用の目的は

商工費で会計年度任用職員を雇うことになっているが、目的はあるのか。

A 予算可決後に募集を開始する

職員募集にかかる経費として、広告料や手数料を計上しており、予算可決後に募集を開始する。

Q 定着するための募集方法は

辞めていなくなることがないように体制を作れるのか。

定着し、利用者が有効活用できるような対策として、どう募集をかけるのか。

専門職が専門以外を担うのは厳しく、募集の際に内容を説明しないと同じことを繰り返すことになる。

A 明確な勤務条件等を明示する

事前に明確な勤務条件等を明示して、本人と面接を行いながら確認する。

来る方は健康運動指導士の業務だけをやると考えて来ると思うので、事務の一部を担うことを明確に示し募集する。

過去に2例ほど定着せずに離れていく事例があり、今回は業務を明確にし、面接でも吟味しながら進めていく。

商工夏まつり運営費補助事業

（内容）地域振興事業に要する事業費として、商工夏まつり運営（花火大会）に係る経費の一部を補助するもの。

Q 全体の事業費と今後のイベントのあり方は

商工夏まつり事業の全体の事業費の内訳と今後のイベントについて、豊富町と言えば人気がある一大イベントであり、ある程度集約して規模を大きく、もう少し事業費をかけた企画の考えはないのか。

A 実行委員会を立ち上げて検討する

全体事業費570万円に対し、商工会115万円・協賛金195万円・町補助金260万円。今後は、商工会・観光協会などの関係団体に問いかけ、地元の実行委員会を立ち上げたなかで検討するが、運営スタッフがほとんどいなく、役場職員がボランティアで出ている実情もある。



議会とよとみ表紙写真募集中！

豊富町議会では、豊富町で撮影した写真及びメッセージを募集します。ご応募いただいた中から選定し「議会とよとみ」の表紙写真とさせていただきます。たくさんのご応募お待ちしております！

応募資格 豊富町の写真を撮影した方

募集内容 風景・人物問わず豊富町で撮影した写真と100文字以内のメッセージを募集します。笑顔になれる大人・子どもの写真や、心癒される風景写真などお待ちしております！
写真サイズはできるだけ大きく、JPG形式でお願いします。

募集期間 随時募集

応募方法 下記アドレスに、件名「議会とよとみ表紙写真」と記入し、本文にメッセージと連絡先（住所、氏名、電話番号）を記入の上、写真を送付してください。
gikaijimukyoku@town.toyotomi.hokkaido.jp

ココが聞きたい！

一般質問

一般質問とは？

議員が町の事務の執行状況や将来の方針について、町長などに説明・報告を求め、町が町民のための適切な町政運営を行っているかを確認するものです。

今回は2名の議員から一般質問が提出されたのでご紹介します。

2番 ^{みとべ}水戸部 ^{まさひろ}正博・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7

- (1)サロベツ川の治水について
- (2)大規模草地の施設について

5番 ^{ささき}佐々木 ^{まこと}誠・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P8

- (1)コンビニエンスストアでの住民票、印鑑証明書の発行サービスの進捗状況について
- (2)本町における食料品を扱う商店の減少について



みとべ まさひろ
水戸部 正博 議員

問 サロベツ川の治水について

町長

融雪時期や大雨時による被害が軽減されるよう、サロベツ川の治水対策を引き続き北海道に要望する

議員

サロベツ川落合の開光橋付近は、雪解けの時期や豪雨の時には、危険水位になったり、牧草地が水に浸かる事がしばしばあります。これらの事は、芦川あたりまで影響があり治水に関して、大変憂慮される問題です。

しかしながら、この川はサロベツ原野につながり、国立公園たる湿原の乾燥化の問題にも密接に関係してきますので、大変、複雑で繊細な問題と認識しております。

さらに、シジミで有名な天塩町の天塩川に合流します。

しかし、開光橋付近に、旧開光橋の残骸が多数残っており、これらは水流を明らかに妨害しており、橋をかけ替えた時の不始末ではないでしょうか。

最低限、これらの撤去については、河川管理者に強く、要請をしていただけないかお尋ねします。

町長

議員ご指摘のとおり、サロベツ川では融雪時期や大雨の際には氾濫危険水位に達し、牧草地への浸水や町道冠水による通行止めなどが発生し、町としても憂慮しています。

今年度も4月中旬からの気温の上昇に伴い、サロベツ川の水位も上昇し、4月16日の雨も重なり、氾濫危険水位を超過して芦川を含むサロベツ川流域で牧草地が浸水いたしました。

さらには、道道444号線稚内豊富停車場線の開運橋付近において、サロベツ川の増水のため、4月22日まで通行止めとなりました。

ご質問にあります、旧橋の残骸や水流を明らかに妨害しているのとこのことですが、目に見えて旧橋梁の橋脚や橋台が残っているものも無く、大きな石や堆積物により、川幅が狭くなっていることはあるかと思われませんが、そのすぐ下流では排水路の合流により、以前の航空写真と見比べると合流部分の川幅が広がっておりますので、旧橋付近では狭くなっているように見受けられるのかと思います。

昨年度、稚内建設管理部河川係が現地確認した際には、残骸と呼べるものは見当たらず、特に川の流れを阻害されるような状況も確認できません。

かったと報告を受けています。

ご質問の趣旨は、サロベツ川の氾濫による人畜被害や牧草地、道路に影響がないようにとのことであると思いますので、毎年実施されております北海道要望に対し、サロベツ川落合地区を含む河川改修の要望や、伐採処理などの維持管理の徹底などを引き続き要望を行ってまいります。

また、サロベツ川の上流域について、現在、稚内建設管理部では、現地の地形・地質条件や生環境への影響等も考慮したなかで、サロベツ川河道内調整池の調査検討を行っているところです。

問 大規模草地の施設について

町長

令和9年度から5か年で畜舎や草地整備改良などの事業を実施する予定で酪農家の預託要望に応えるべく、指定管理者など検討を進める

議員

令和6年度の議員町内視察において、大規模草地を視察した際に施設の老朽化が目についたのですが、豊富町の基幹産業と位置付ける酪農業を下支えする施設として

は、いかがなものかと感想を持ちました。さらには、その、容量も不足しているとの事でした。

長期的計画による更新を行う予定はないか、お尋ねします。

町長

議員 ご指摘の大規模草地においては、牧場開設当初の昭和44年度建設、2号牛舎については、平成3年にそれぞれ建設がされ、長い年月が経過し、老朽化が進んでいる状況であります。施設整備には、多額の費用が必要であることから、補助事業による整備を検討しておりますが、この度、道営事業により整備を進めることとなりました。

令和7年度から令和8年度にかけて計画樹立を行い、令和9年度から令和13年度の5か年で事業の実施を予定しております。

事業内容については、指定管理者の考えも踏まえ、畜舎や草地整備改良、機械導入などを予定しております。

なお、概算事業費については、現段階で20億円程度の見込みであります。今後の計画樹立作業のなかで、費用対効果などの分析により、事業費などに変更が生じる可能性があります。

本町としては、酪農家の預託要望に添えるべく、指定管理者や関係機関などと、更に検討を進めてまいりたいと考えております。



問 コンビニでの住民票・印鑑証明書の発行サービスの進捗状況について

町長

住基システムを標準化へ変更することが先決であり、町民へのサービス低下とならぬよう執り進める

議員

令和5年6月の定例会において、同僚議員が一般質問されており、コンビニでの住民票・印鑑証明書の取得について、当町の進捗状況についてお聞きします。

この時の町長の答弁では「休日対応を含め、コンビニでの交付サービスは、町民の皆さんへのサービス向上の手段としても重要であると思いますので、町民の皆さん方の意見を伺いながら、検討を進めて参ります」と回答されております。

マイナンバーカードを推進する段階では、土日・祭日・休日でも住民票・印鑑証明書が取れるようになり大変便利になると言って推進したはずですが、

あれから2年がたっておりますが、いまだに対応されていないのは何故なのか町長の見解をお伺いします。

町長

住民票などのコンビニ交付につきましては、令和5年6月議会において、佐々木政義議員より一般質問をいただき、コンビニ交付を実施するに当たってのシステム改修などについて、事業者と協議を進めてきたところでありますが、令和7年度中の自治体情報システムの統一・標準化システムへの移行と重なり、先ず、住基システムを標準化システムへ変更することが先決であったため、現段階でコンビニ交付は実施に至っておりませんが、本町における標準化に伴う新システムの稼働

が令和8年2月中旬頃と見込まれており、新システムが稼働しますと、役場ロビーに設置しております自動交付機が使用できなくなることも踏まえ、早急にコンビニ交付や自動交付機の代替など具体的対応を進め、町民の皆様へのサービス低下とならぬよう、執り進めて参りたいと考えております。

議員

先日、急に印鑑証明書が必要となりコンビニに問合せました。そうしたら、「コンビニでは発行する機械は設置してあるんですが、豊富町でデータを提供してもらえないので発行できない」という回答でした。

その後、隣のコンビニで確認したところ「（隣）町では既に対応されている」という回答でした。

近隣の町で対応しているのに、当町ではなぜ対応できないのか。

システム上の問題や財政の問題などいろいろあるとは思いますが住民サービスを優先することを大事にしておられる町長の見解を伺います。

町長

当町においては、ロビーに設置している自動交付機のシステムは、コンビニ移行をするとロビーの自動交付機が使えなくなるといった点がありました。検討していたところ、国のDXが入ってきてまして、まず、このDXを進めるためにはシステム更新をしていき、その中で、

コンビニに対応するシステムを導入していくという計画に変更しております。

新しいDXでは、役場のロビーの自動交付機が使えなくなりますので、そのときには、コンビニへお願いし計画を進めていきたいと考えています。

国からも、DXについては早急に対応するようにというご指導をいただいておりますが、システム対応するベンダーがいなくて対応し切れない状況で、当町でも、繰越明許で2年間かけないと移行できないという

ことになっておりますので、ご理解をいただきたいと思います。
決してやらないということではございません。

DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは

デジタル技術を活用して、既存の業務プロセスを効率化すること

問 本町における食料品を扱う商店の減少について

町長 関係団体などと具体的な対策の協議検討を進める

議員 本町では昨年、駅前にあった米・酒などの商店が閉店し、今年は大通りの老舗家具店が閉店となり、大通りでは営業している商店はわずかとなり、大変寂しい状態であります。

さらに今年度Aコープとよみ店も閉店となることが決まっているようであります。

Aコープが閉店となれば、生鮮食料品を扱うスーパーは1件のみとなり、特に市街地の北側の車を持たない住民の皆さんは大変不便となり

「買い物難民」になると心配がなされております。

町長はこのような商店街の状況に鑑み、町民の皆さんの不安をどのように解消し、対応していくのか見解をお聞きます。

町長 議員のご指摘のとおり、Aコープが閉店しますと生鮮食料品を扱う店舗は、スーパー1店舗となり、町民の皆様にご不便をおかけすることになると思っておりますが、これまでの本町の商店の状況を見ま

すと、人口減少や近隣大型店舗などへの買い物客の流出、後継者不足、ネット通販の普及などといった複合的な要因が影響し、閉店や空き店舗が増加しているものと考えております。

町としては、これまで企業立地補助金や商業活性化補助金などの制度により、商業への新規参入や育成を目的に商業の活性化に向け執り進めてきたところでありますが、店舗閉店は、町民の皆様にご不便をおかけするとともに、町の活力に大きく影響を及ぼすものと考えており、これまでも協議検討を行ってきたところでありますが、さらに商工会をはじめ関係団体などと空き店舗への新規参入や利便性の高い公共交通体系など、具体的な対策について協議検討を進めてまいりたいと考えております。

議員 Aコープ店舗の再利用策として、町内で要望の多いドラッグストアなどを誘致するほか、施設を利用して公設民営方式での店舗を運営するなどの方策が必要だと思いますので、町長のお考えを伺います。

また、Aコープが閉店することになると、付近の住民や特に駅前団地には、多くのお年寄りが住んでおられ、日々の買物には大変苦労することになり、巡回バスのルートを変更し、前から大通りも回るルートに変更し、さらに、回数も増やしていただ

き、住民の不安を解消したらいかがでしょうか。

町長 Aコープの跡地の件は、農協さんとも協議しながら、皆さんが要望しておりますドラッグストアを含めて検討してきましたが、残念ながら相手側の意向に沿うことができず、1つの案が実行できなかったという事実もございます。

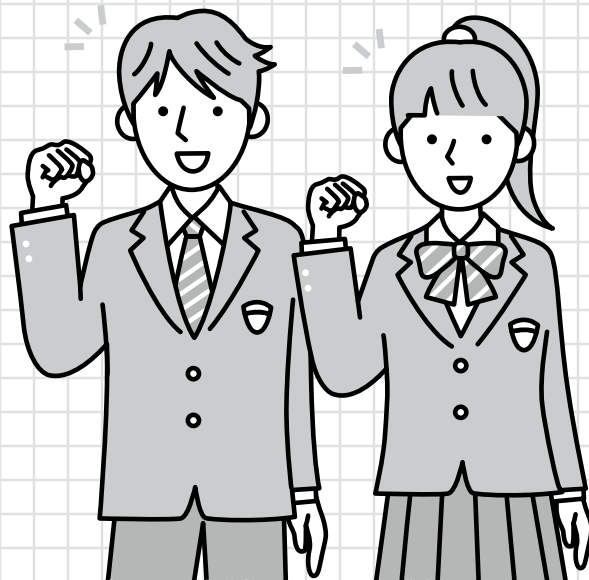
ただ、農協さんも非常に協力的なことをおっしゃっていただいておりますので、ドラッグストアを誘致できないか、我々ももう一度、チャレンジをしていきたいと考え、関係機関に種まきをしようと思っています。

駅前団地の方の、非常に買物が不便になるというところは、地域交通の検討に入りましたので、その辺はしっかり対応していきたいと考えておりますし、浸透してないのかもしれないませんが、沿岸バスは皆さん、無料にしていますので、有効に使っていただければありがたいなと思っております。

私のほうに入ってる情報としては、Aコープさんが9月末で営業を終了するというお話なので、この間にいい答えが出ればいいなと思っておりますが、難しい問題であり、ほかの対策も検討しながら町民の皆さんの期待に答えられるような対応をしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いをいたします。



豊富高校3年生 6月定例会傍聴



傍聴を終えた生徒さんより感想をいただきましたので、一部をご紹介します。

議長と町長の一般行政報告を聞いて、豊富の外の町でも仕事をして、他の町から参考になるようなことを取り入れているのかなと思ったことと、町のためになることの質問の他に実施していることの進捗確認も質問されていることも知れて良かったなと思いました。

今日の議会を見て、これで街が変わると思えない。正直もっと活発な議論があると思ってたけど、決められたことをただこなしてる感じががっかりした。

地元の人が大事なはずなのに誰のためにやっているか分からない。このままだと人口が減り続ける一方だと思う。



6月19日(木曜日)に開催された「令和7年第2回定例会」に、豊富高等学校3年生の皆さんが傍聴に来られました。

本会議では「一般質問」のなかで、議員が町へどのように声を届けているのかを見学し、9月に開催が予定されている「高校生議会」に向けて、本番の臨場感や会議の進行を学んでいただきました。

今回の傍聴や高校生議会を通して、次世代を担う高校生の皆さんに町政や議会への関心を高めていただけたら幸いです。



ドラマで見たような裁判する感じで興味深く、不思議でした。何か月後に私たちもその場で話すと思いますが、うまくできるか不安です。でも、質問を備え余念無く準備していきたいと思います。

終始緊迫したような雰囲気の流れであり、質疑応答は素早く話していて、少し聞き取りづらい瞬間もあった。内容はちゃんと今の豊富で考えた方がよい話をしていたので、ちゃんと議会は行われているんだなと感じました。

普段あまり豊富の議会などについて関心を持っていなかったけど、今回の議会傍聴を通して、普段から検討に検討を重ねて、とてもがんばっているんだと感じた。



議会に対し、興味・関心・疑問に感じたこと

- ▶ 豊富町の予算の話を聞いて、小さな町でも思った以上に予算が必要だということを知った。
- ▶ この議会を通して何が変わったいくのか楽しみです。ドラッグストアができると嬉しいです。
- ▶ 一般質問の際、他の地域と比べることによって、より後押しさせるようなことに関心した。

▼スマートフォンをお持ちの方は
こちらをご覧ください!



豊富高校 町外からの 通学生



広報広聴
常任委員会

広聴会

〔参加議員〕

ちば	ひさし
干葉	久
たけなか	たかひろ
竹中	隆浩
おがさわら	てるみ
小笠原	照美
かまくら	かずお
鎌倉	和雄
さ	まさよし
佐々木	政義
みと	べまさひろ
水戸部	正博

令和7年5月13日（火曜日）に豊富高校の町外（稚内市、幌延町）から通学している8名の高校生に参加いただき広聴会を開催しました。

入学から間もない新入生は緊張した様子でしたが、議員からの質問に積極的に答えてくれましたので、その内容をご紹介します。

豊富高校に町外から通学している生徒の皆さまご協力ありがとうございました。



通学などで不便なこと

■稚内市からの通学生より

▶ 駅舎に設置されているスピーカーの音質などを改善してほしいです。『ザー……分遅れます…』のように全部が明確に聞こえない感じで、“なぜ遅れたのか？”“何分遅れるのか？”がわからない状態です。

▶ 駅舎のストーブが4月に入ったら消えてしまい、雪が降った日は結構寒かった。3月まではずっと点いていたのでありがたかったです。

■幌延町からの通学生より

▶ スクールバスの停留所を増やしてほしいです。希望は、幌延町の公営住宅から場所が近い「幌延町役場前」からです。

▶ 吹奏楽部では、土日も練習することがありますが、土日はスクールバスが出ません。親は土日でも仕事があるので困るときがあり、土日の部活に対応したスクールバスを出してほしいです。



議員から「度々お話しを聞かせてください。」と生徒たちにお伝えしました。

今後も、豊富高校の存続に向けて、意見や要望の聞き取り調査を継続して実施します。

豊富温泉 コンシェルジュ デスク



スタッフ ^{いまい}今井 ^{えみ}恵美さん スタッフ ^{いそべ}磯部 ^{こうき}航輝さん
健康相談員 ^{みずたに}水谷 ^{みちよ}康代さん

令和7年7月2日(水曜日)に豊富温泉コンシェルジュデスク職員との広聴会を開催しました。

コンシェルジュデスクの役割や相談業務をするうえでの要望などを伺いました。

職員から出された状況や課題の一部をご紹介します。

ご協力いただきました豊富温泉コンシェルジュデスクの皆さまありがとうございました。

困っていること

- ▶ 移住希望者はいるが、民営賃貸物件が少ないことや、公営住宅の制限などにより住居を案内しづらい。
- ▶ 買い物などのアクセスが悪く、町まで行かないと生鮮食品がない。
- ▶ ふれあいセンターの老朽化で頻繁に機械が故障し休館となることがある。
- ▶ 健康相談員の実数が減少している。
- ▶ 給与や待遇面が充実しておらず、本来の仕事以外に副業をしなければならないので、休養が取れず体調面の負担が大きい。

コンシェルジュデスクからのメッセージ

豊富温泉は、「アトピー性皮膚炎や乾癬などの皮膚疾患に効能がある」として知られ、泉質的にも環境的にもとても希少価値があり魅力的な環境で、自然・医療・観光の複合資源として活用できるポテンシャルがあります。

健康を軸にした魅力ある町には、人が集い活気が生まれます。施設や環境の整備がすすみ、人と地域をつなげ交流人口が増え『あの町に行けば、心も身体も元気になるね』と言われるように住民にとっても、訪れる人にとっても、誇れる場所になり活性化していくと嬉しいです。

【コンシェルジュデスクの役割】 湯治相談／移住・求人相談／交通・宿泊・観光案内／情報提供／SNSや動画等を通じた情報発信／イベントの実施／本や運動器具などの貸出



広報広聴
常任委員会

広聴会

〔参加議員〕 ^{ちば}千葉 ^{ひさし}久
^{たけなか}竹中 ^{たかひろ}隆浩
^{おがさわら}小笠原 ^{てるみ}照美
^{かまくら}鎌倉 ^{かずお}和雄
^さ佐々木 ^{まさよし}政義
^{みと}水戸部 ^{まさひろ}正博



Question

【豊富温泉
コンシェルジュデスクとは?】

コンシェルジュデスクは「豊富温泉の総合案内所」です。

湯治のご相談を始め、周辺交通機関や宿泊施設のご案内などを行っています。

また、湯治客の憩いの場でもあり、同じ悩みを持つ仲間同士、交流の場としてもお使いいただけます。

滞在中のお友達づくりの場としてぜひご利用ください。

■場 所：ふれあいセンター2階

■営業時間：10時から17時

(12時から13時は昼休)

■お問合せ：0162-82-3782

宗谷管内 町村議会 議員研修会



5月20日(火曜日)にサフィールホテル稚内で行われた「宗谷管内町村議会議員研修会」に、9名の議員が出席しました。

株式会社セコマの丸谷会長を講師に迎え「産業と地域を支える物流の重要性」と題し、豊富町牛乳工場の効率的な物流網の事例や過疎地域での協力体制などの講演をいただきました。

宗谷管内の町村議会議員が集まり活発な意見交換が行われ、実りある研修会となりました。



研修会

■開催日 令和7年5月20日

[参加議員]

千葉 久	鎌倉 和雄
水戸部正博	竹中 隆浩
小笠原照美	佐々木 誠
佐々木政義	前田 孝一
多々良 勝	

北海道 町村議会 議員研修会



7月8日(火曜日)に札幌コンベンションセンターで行われた「北海道町村議会議員研修会」に、豊富町議会からは8名の議員が出席しました。

研修会では、西南学院大学の勢一教授より「地方議会における議員の多彩化に向けて」、人口戦略会議の増田副議長より「人口減少社会を生き抜くために」と題して、それぞれ講演会が行われました。

両氏の講演内容とも非常に興味深く、熱心に耳を傾け、議員一同大変勉強になりました。



研修会

■開催日 令和7年7月8日

[参加議員]

千葉 久	鎌倉 和雄
水戸部正博	竹中 隆浩
小笠原照美	佐々木 誠
佐々木政義	前田 孝一

これからも、積極的に議員研修会等に参加し、今後の活動に役立てるとともに町の議会改革に向けて努めてまいります。

第45回北海道町村議会広報コンクール 議会とよとみ第250号が 入選に選出されました!

GIKAI TOYOTOMI



この度「議会とよとみ第250号」が北海道町村議会議長会主催の第45回北海道町村議会広報コンクールにおいて、入選に選出されました。

町民の皆様の温かいご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

今後もより良い紙面づくりを心がけ、日々精進してまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

◀議会とよとみ第250号表紙

スマートフォンをご利用の方は「議会とよとみ第250号」を
ご覧いただけます▶



＼ 高校生の声 ＼

豊富町を住み続けたい 町にするために



豊富高校2年生

ちば こうた
千葉 煌太さん



私たちの街をもっと住みやすくするためには、一人ひとりが
できることから始めましょう。例えば、ごみをきちんと分別し
て出す、自転車に乗るときは歩行者や他の自転車に気を配る、
地域の清掃活動に参加するなど、小さなことからでも街は変わっ
ていきます。

また、地域の人たちとコミュニケーションをとることも大切
です。地域のイベントに参加したり、近所の人と挨拶を交わし
たりするだけでも、地域への愛着が深まり、より良い街づくり
につながります。

さらに、新しいアイデアを提案したり、地域の課題解決のた
めに活動したりすることも、住みやすい街を作る上で重要な役
割を果たします。例えば、公園の遊具を増やしてほしい、図書
館の開館時間を長くしてほしいなど、自分の意見を積極的に伝
えましょう。私たち一人ひとりの小さな心がけと行動が、住み
やすい豊富町を作るために不可欠です。

今すぐできることから始め、より良い未来の豊富町
を一緒につくって行きましょう！



＼ 中学生の声 ＼

豊富町に一言！

豊富中学校3年生

このん たいよう
今野 太陽さん



僕は、豊富町の陸上競技場を土のグラウンドからオールウェ
ザーにしたらいいいと思います。

なぜなら、オールウェザーの方がいい記録が出やすく、観る
人も選手も面白いと思います。また、雨が降っても地面がぬか
るむことが無いというのも一つの利点です。

さらに合宿などで来た他の地域の人が買い物をすれば、豊富
町にもお金がおりて、町の発展にも繋がると思います。そのお
金を使って町の建物を新しくしたり、公園を造ったり、飲食店
を増やしたりなど、豊富町に住んでいる人にも恩恵があると思
います。

オールウェザーにすると町の人も気軽に運動ができ、町
内レクリエーションにも使えると思います。

是非、前向きに検討してみてもはどうでしょうか？

次回定例会は

9月です

(9月中旬開催予定)

議会を傍聴して
みませんか



議員は議場でどんな発言をしているのか、どんなまちづくりを考えているのか、今後の町の方向性を直接
聞くことができるいい機会です。ぜひ、お越しください。

豊富町議会広報紙
議会とよとみ 第252号

発行日／令和7年8月20日

発行責任者／議長 千葉 久

編集／広報広聴常任委員会

【豊富町議会事務局】

〒098-4110 北海道天塩郡豊富町大通6丁目

TEL 0162-73-1755 FAX 0162-82-2806